

# 日本遺産 ぐるっとマップ

福井

一栗谷朝倉氏遺跡



京都

天橋立

日本遺産とは

「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会 作成

STORY  
01

琵琶湖とその水辺景観  
～祈りと暮らしの水遺産～



動画はこちら



白鬚神社

近江八幡の水郷

STORY  
06

忍びの里 伊賀・甲賀  
～リアル忍者を求めて～



動画はこちら

オイサデ漁

油日神社

大鳥神社

古来、穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。その水を豊かに湛える瑠璃色に輝く琵琶湖の周囲では、「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰され、琵琶湖をのぞんで建立された寺社は、今日も多くの人々の信仰を集めている。また、琵琶湖とともに育まれた暮らしのなかには、日常の生活に山からの水や湧き水を使いながら、水を汚さない「暮らしの文化」が、現在もなお伝わっている。古くから芸術や庭園の題材に取り上げられてきた琵琶湖とその水辺は、多くの生き物を育むとともに、近年では、水と人の営みが調和した文化的な景観として、多くの人を惹きつけている。

STORY  
08

きっと恋する六古窯  
～日本生まれ日本育ちのやきもの産地～



動画はこちら



越前焼

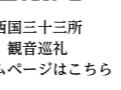
越前、瀬戸、常滑、信楽、丹波、備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ、縄文から続いている世界に誇る日本古来の技術を継承している、日本生まれ日本育ちの、生糸のやきもの産地である。中世から今も連続とやきものづくりが続くまちは、丘陵地に残る大小様々な窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいる。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した塀沿いに進めば、「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができる。

STORY  
09

1300年つづく日本の終活の旅  
～西国三十三所観音巡礼～



観音巡礼



西国三十三所  
観音巡礼  
ホームページはこちら

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。日本人は海外の人から『COOL!』だと言われる。そのように評価されるのは、優しさ、心遣い、勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものである。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのだ。

巡りめぐって再発見！



滋賀



滋賀県商工観光労働部観光振興局  
滋賀県大津市京町4丁目1番1号  
TEL:077-528-3741  
[HP] <https://www.pref.shiga.lg.jp/>



(公社)びわこビジターズビューロー  
滋賀県大津市打出浜2-1『コラボしが21』6階  
TEL:077-511-1530  
[HP] <https://www.biwako-visitors.jp/>



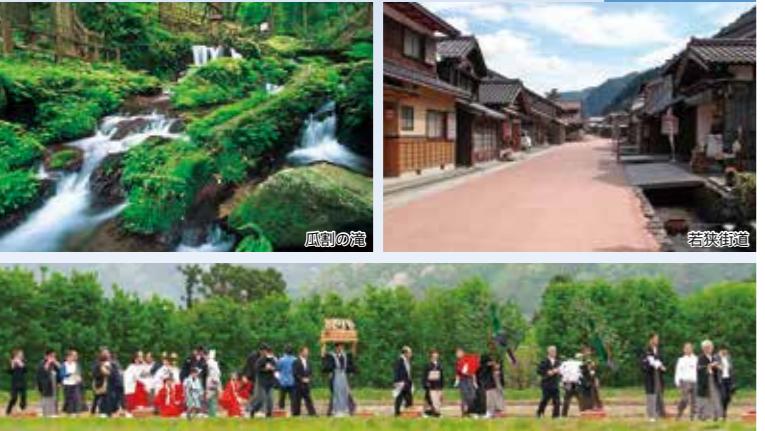
LINE公式アカウント  
「もしサボ滋賀」

STORY  
03

海と都をつなぐ  
若狭の往来文化遺産群  
～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～



動画はこちら



若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地である。また、大陸からつながる海の道と都へつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げた。近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいている。

STORY  
10

400年の歴史の扉を開ける旅  
～石から読み解く  
中世・近世のまちづくり 越前・福井～



動画はこちら



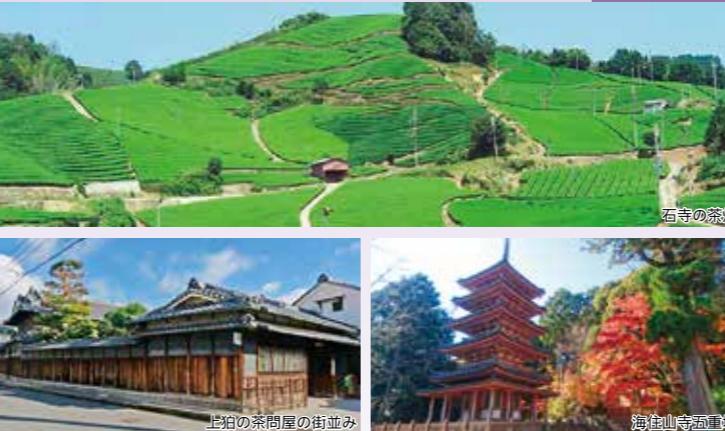
越前・福井では、中世から近世まで「石」を計画的に用いて築かれた都市が栄えた。特に白山平泉寺や一乗谷朝倉氏遺跡では、高度な技術が使われた跡があり、現在もその様子をみることができる。石はまちづくりだけでなく、庭園といった日本の美にも影響を与えた。福井藩主の別邸養浩館庭園では、県内外各地の多彩な石が、華やかな空間を演出している。様々な形に姿を変えて時代を越えてきた石が出迎える越前・福井は、日本人と石との共生の歴史を体感することができる。

STORY  
02

日本茶800年の歴史散歩



HPはこちら



お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所である。

STORY  
07

300年を紡ぐ絹が織り成す  
丹後ちりめん回廊



動画はこちら



京都府北部の丹後を訪れると、どこからか聞こえてくるガチャガチャという機織りの音。丹後は古くから織物の里であり、江戸時代に発祥した絹織物「丹後ちりめん」は、しなやかで染色性に優れ、友禅染などの着物の代表的な生地として、我が国の和装文化を支えてきた。この地は今も着物の生地の約6割を生産する国内最大の絹織物産地であり、織物の営みが育んだ、住居と機場が一体となった機屋や商家、三角屋根の織物工場の町並みと、民謡宮津節で歌い継がれた天橋立などの象徴的な風景を巡れば、約300年に渡る織物の歴史と文化を体感できる。

STORY  
05

荒波を越えた  
男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～



動画はこちら



日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪華な船主屋敷が建ち並ぶ。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。

STORY  
12

海を越えた鉄道  
～世界へつながる 鉄路のキセキ～



明治時代に長浜市・敦賀市・南越前町間に鉄道が敷設されたことにより、この地域に物流の革命がもたらされ、それは海外航路とのつながりを促した。3市町に敷設された鉄道は欧亜国際連絡列車として世界へと通じ、人、文化、経済の国際交流の架け橋となった。それらの鉄道遺産は、姿や形を変えずに、人々の生活に必要な財産として生まれ変わり、地域に密着した文化財として生き続けている。今後これららの鉄道遺産は、北陸新幹線敦賀開業を契機に、国内外からの観光客を出迎える役目を担い、長浜市・敦賀市・南越前町の一体化かつ広域的な観光振興による地域活性化に貢献するだろう。この地を訪れ、その軌跡を追うとき、懐かしくも新しい旅の扉が開かれる。

STORY  
04

鎮守府  
横須賀・呉・佐世保・舞鶴  
～日本近代化の躍動を体感できるまち～



動画はこちら



明治期の日本は、近代国家として西ヨーロッパに渡り合うための海防力を備えることが急務であった。このため、国家プロジェクトにより天然の良港を四つ選び軍港を築いた。静かな農漁村に人と先端技術を集積し、海軍諸機関と共に水道、鉄道などのインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた四つの軍港都市が誕生した。百年を超えた今もなお現役で稼働する施設も多く、躍動した往時の姿を残す旧軍港四市は、どこか懐かしくも逞しく、今も訪れる人々を惹きつけてやまない。

STORY  
11

京都と大津を繋ぐ希望の水路  
琵琶湖疏水  
～舟に乗り、歩いて触れる明治のひととき～



HPはこちら



平安京の誕生以来、約千年間にわたり日本の都として栄えた京都は、明治2年の事実上の東京遷都により、人口が減少し、産業も衰退していく。この危機に対して復興策として計画されたのが、琵琶湖疏水である。琵琶湖から京都に水を引くという一大プロジェクトは、日本最初の事業用水力発電や路面電車の開業のほか、舟運、防火、庭園への活用など、経済や産業、文化を大きく発展させることとなった、我が国最初の全てを日本人の手で行った大土木工事であった。平成30年、約70年ぶりに復活した「びわ湖疏水船」(春季・秋季のみ運航)に乗ると、美しい自然とともに、明治期の壮大な志を感じることができます。

福井  
【問い合わせ先】

福井県観光誘客課  
福井県福井市宝永2丁目4-10  
TEL:0776-20-0291  
[HP] <https://www.pref.fukui.lg.jp/>



(公社)福井県観光連盟  
福井県福井市宝永2丁目4-10  
TEL:0776-23-3677  
[HP] <https://www.fuku-e.com/>



福井県HP  
[新型コロナウィルス  
感染症について]

京都  
【問い合わせ先】

京都府観光室  
京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町  
TEL:075-414-4843  
[HP] <https://www.pref.kyoto.jp/>

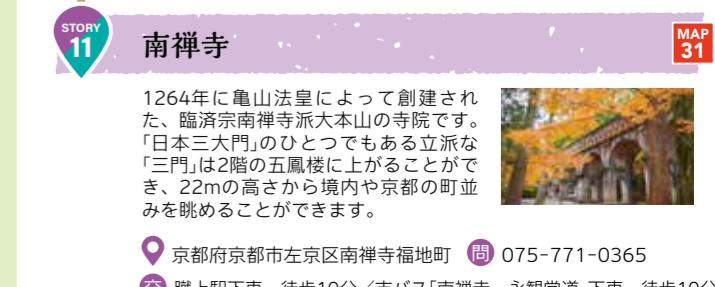
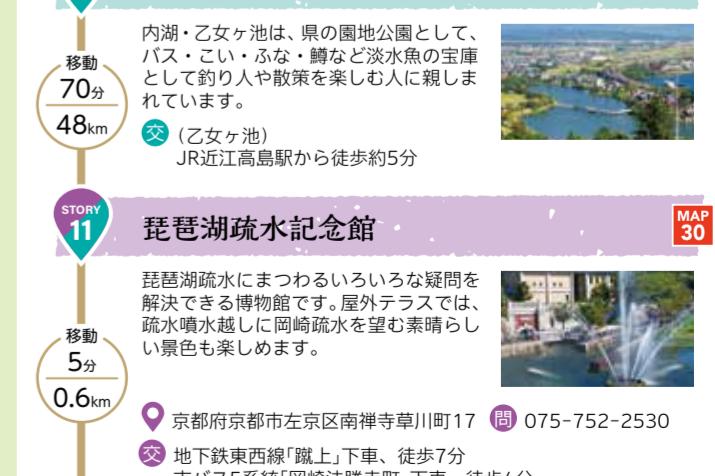
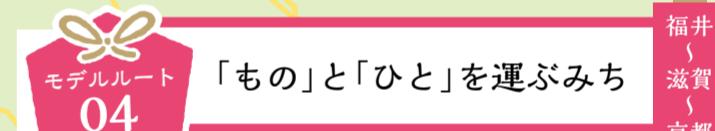
(公社)京都府観光連盟  
[HP] <https://www.kyoto-kankou.or.jp/>



京都府新型コロナウィルス  
緊急連絡サービス  
「こころ」

# 日本遺産 ぐるっとマップ

伝統的建造物や遺跡、食文化など今に伝わる風習や歴史物語の中に地域の魅力がいっぱい!  
ふるさと・文化・伝統の物語を求めて、「日本遺産」をめぐる旅に出かけてみませんか。



**モデルルート 01 日本海を望むみち 福井～京都**

**STORY 01 氷見比神宮**  
高さ約11mの大鳥居は春日大社(奈良県)・嚴島神社(広島県)と並ぶ「日本三大木造大鳥居」のひとつで、国の重要文化財に指定されています。  
福井県氷見市曙町11-68 ☎ 0770-22-0794  
JR北陸本線「敦賀駅」下車、徒歩約15分  
北陸自動車道「敦賀IC」より約10分

**STORY 05 護松園(旧古河屋別邸)**  
江戸時代に、寄港地の一つである小浜市でも最大な規模を誇ったのが西津長町を拠点とした「古河屋」です。その古河屋は小浜藩主などをもなす場所として護松園を使用していました。  
福井県小浜市北塩屋17-4 ☎ 0770-64-5403

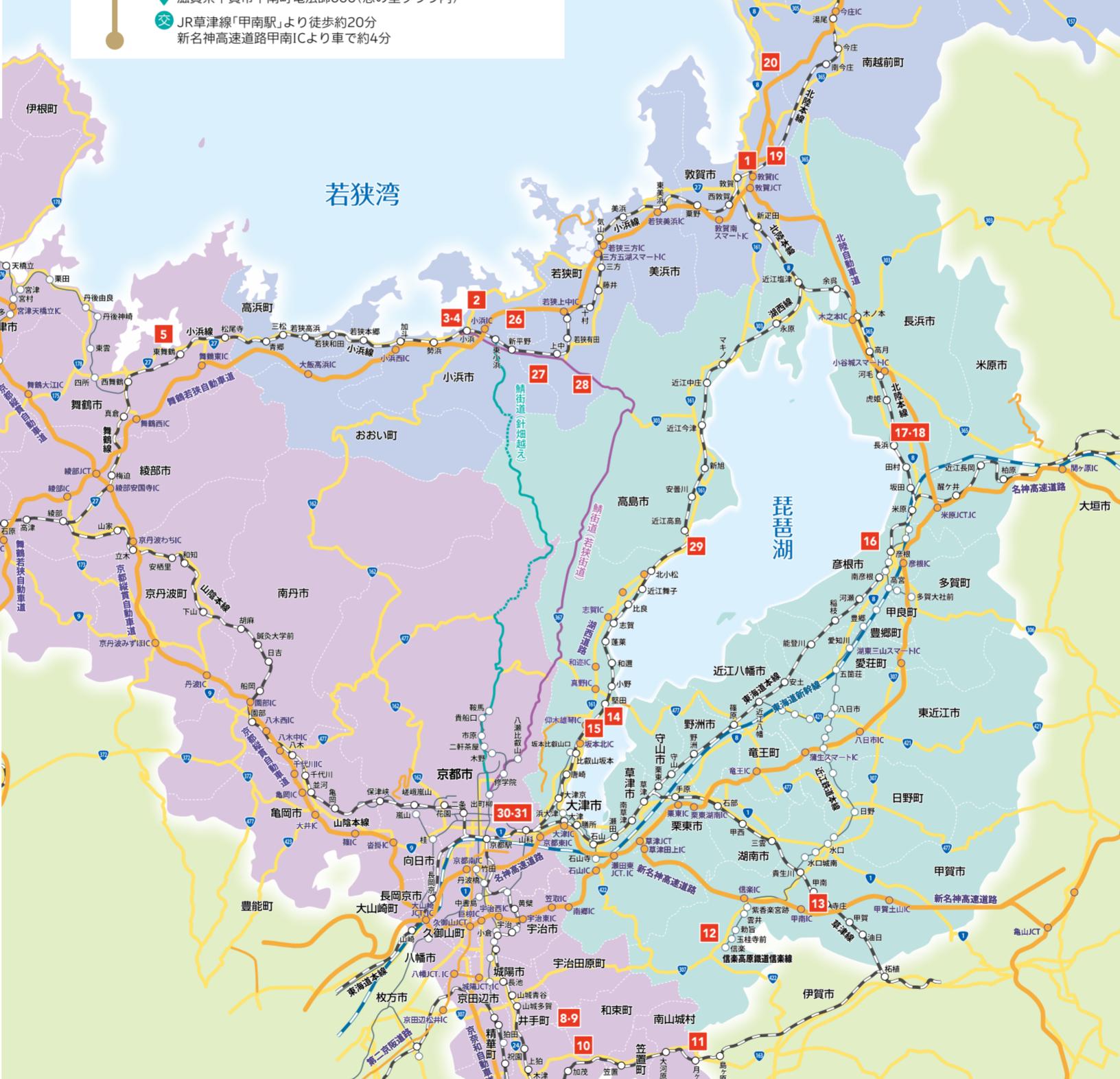
**STORY 03 御食国若狭おばま文化館**  
小浜の食の歴史を展示。2階の若狭工房では若狭塗り箸の研ぎ出し体験など伝統工芸体験が楽しめます。  
福井県小浜市川崎3-4 ☎ 0770-53-1000  
JR小浜駅より徒歩20分／舞鶴若狭自動車道小浜ICから約10分

**昼食 鮎そうめん**  
福井・滋賀・京都に及ぶこの周辺には数々の物産や風物詩または味覚が創生されました。小浜では祭礼時に「鮎そうめん」を造って祝う習慣があります。  
移動 45分 40km  
47km MAP 4

**STORY 04 舞鶴赤れんがパーク**  
旧日本海軍が調理の担当隊員を育成するために編成した教科書「海軍割烹烹調参考書」をもとに再現された料理など、海軍ゆかりのグルメをお楽しみいただけます。  
京都府舞鶴市字北吸1039-2 ☎ 0773-66-1096  
JR東舞鶴駅より徒歩10分／東舞鶴ICから15分

**STORY 07 丹後ちりめん歴史館**  
地元丹後をはじめ、全国のシルク製品が集まる織物ミニームアムです。実際の織物現場で使用される力機織(りきょつき)がすぐそばで見学できます。  
京都府与謝郡与謝野町岩屋315 ☎ 0772-43-0469  
JR与謝野駅からタクシーで約10分／与謝天橋立ICから10分

**夕日ヶ浦温泉**  
温泉を掘った砂丘地から眺めた夕日の絶景にちなんで名付けられました。海岸にあるビーチブランコ「ゆらり」から美しい夕日を眺めることができます。  
MAP 7



**モデルルート 03 歴史をたどるみち 滋賀～福井**

**STORY 01 彦根城**  
国宝に指定された天下の名城の一つ。かつては琵琶湖と内湖に接して築かれた「城跡」であり、堀は城下町への物資の輸送路としても利用されていました。  
滋賀県彦根市金龜町1-1 ☎ 0749-22-2742  
JR彦根駅下車、徒歩約15分／名神高速道路彦根ICから約10分

**STORY 12 長浜鉄道スクエア**  
旧長浜駅舎は、現存する日本最古の駅舎。北陸線電化記念館には、実際に北陸線で活躍したD51形蒸気機関車やED70形電気機関車が展示されています。  
滋賀県長浜市北船町1-41 ☎ 0749-63-4091  
JR琵琶湖線「長浜駅」から徒歩3分  
北陸自動車道長浜ICより10分

**昼食 焼鯖そうめん**  
長浜には、農家に嫁いだ娘のもとへ、娘を察する親が焼鯖を開ける風習があります。親の愛、おもてなしの心をこめて「焼鯖そうめん」は、長浜のお店にもそれぞれの味が受け継がれています。  
移動 60分 45km  
45km MAP 18

**STORY 12 旧北陸線樫山トンネル**  
敦賀駅を起点とした旧北陸線最初のトンネル、延長は87mで、内部と坑門(トンネル入り口)の立派なとその意匠まで全てレンガを用いています。  
ガイドツアーができます。  
【問合せ先】一般社団法人 敦賀観光協会(0770-22-8167)  
福井県敦賀市瀬河内 ☎ 敦賀ICより車で約10分  
MAP 19

**STORY 12 旧北陸線山中トンネル**  
敦賀駅を起点とした旧北陸線最初のトンネル、延長は87mで、内部と坑門(トンネル入り口)の立派なとその意匠まで全てレンガを用いています。  
ガイドツアーができます。  
【問合せ先】一般社団法人 南越前町今越田観光ボランティアガイド協会(0778-45-0074)  
福井県南条郡南越前町山中  
MAP 20

**STORY 10 一乗谷朝倉氏遺跡**  
戦国時代に朝倉氏が103年間にわたって越前の国を支配した城下町跡。戦国城下町跡をそのまま体験できる全国でもめずらしい遺跡です。  
福井県福井市城戸ノ内町  
JR越美北線「一乗谷駅」下車、徒歩15分  
北陸自動車道福井ICから車で10分  
MAP 21

**STORY 10 白山平泉寺**  
泰澄大師を白山に導いた女神が現れたと伝えられている御手洗池や全山焼失に耐えて残ったと伝えられる若宮八幡宮の大杉など往時の白山平泉寺の姿をしのぶことができます。  
福井県勝山市平泉寺町平泉寺 ☎ 0779-88-8117  
えちぜん鉄道勝山駅からコミュニティバス(平泉寺方面)乗車15分、平泉寺白山神社前下車／中部縦貫自動車道勝山ICから車で15分  
MAP 22

**あわら温泉**  
田園風景が特徴のあわら市の温泉地は、旅館それそれが自家源泉を持ち、温泉街を三つのエリアにわけて街を建て温泉を守っています。  
福井県南条郡南越前町山中  
MAP 23

**STORY 08 鳥居神社**  
織田信長公氏神の神社です。本殿は県の指定文化財に指定されています。国宝の梵鐘は、日本で3番目に古い梵鐘とされ、岐阜県にある6つの中の国宝のうちのひとつです。  
福井県越前町織田113-1 ☎ 0778-36-0404  
JR武生駅下車  
福鉄バス(越前海岸線)かれい崎行「明神前」下車(約35分)  
MAP 24

**STORY 08 越前古窯博物館**  
越前焼研究の第一人者であり、越前焼の名付け親の一人である水野九右衛門先生が収集した、平安時代から現代に至るまでの貴重な資料を展示します。本格的な茶室やコミュニティスペースとなる古民家も備えており、様々な場面で活用できる施設です。  
福井県丹生郡越前町小曾原107-1-169 ☎ 0778-32-2174  
JR武生駅下車  
福鉄バス(生野・越前海岸線)かれい崎行「陶芸村口」下車(約30分)  
MAP 25